

なきごえ



1972

1

大阪市
天王寺動物園協会

正月に想う



かさこそと足もとの棕の枯葉が風に舞上がる。けれども日だまりは太陽がとてもあたたかい。仰いで見る今日の空はいつもより綺麗で青い空が見える。すっかり

舗装されたコンクリートの上をコツコツと心よい自分の靴音を写しながら、動物園の中を散策して見る。

開園間もないというのに、子供連れの人達がもう一ぱいである。あっちにゆこう、こっちの方がいいと両方から手を引っぱられながらも嬉れしそうな困った親達の顔、平和だなあノと感じる。

天王寺動物園協会が発足して5年、やっと軌道に乗りかゝっている。園内の乳母車の利用度も高いしホワイト・ブルーの椅子も322個、園内を温かく彩どっている。2万の入園者があれば228ケの白ペンキで塗られたくず籠も飽和状態になるという。何といても入園者に奉仕という精神で、いつも園内が清潔で愛情がこめられていなければという事が協会の眼目である事に力がくばられている。

創立以来慈母観音様のような中馬会長を中心に動物園という、特殊な教育の現場として中馬前市長の動物園によせられた格別の理念を重視すべく理事達はその事の理解のもとに一つになって、会長に誇りと尊敬をよせている。どうぞ長い目で氏上の御指導を頂き、いついつまでも協会の柱になって頂き

表紙の写真説明

“バカ”
南アメリカや、メキシコの川や湖の岸に穴を掘って巣を作りすんでいます。体には明瞭な白斑があり、かわいらしい。

たいと今更ながら希い願うものである。

人間性回復というのは現代の合言葉であるが、ただ口でいうばかりでなく具体的に小さな行動から積み重ねられなければならない。

生きもの、生命を大切に育てる心、自然を愛する心を推進し豊かな心を養い、檻に表示してある通り、ハゲタカを見ればキリマンジャロの雄大な原野をおもい、アフリカにはどんな動物が生息しているのか、そして世界各国ではどういうふう^にに保護されているのだろうとの疑問に答え、単に日本国内だけでなく世界各国から寄贈された動物などとおしてからも国際理解は生れる。考えれば考えるほど動物園の使命は大きい。ささやかながらおもちゃの動物園も増設されたし、つぎは目的の一つである子供動物園の建設である。子供が動物にじかに手をふれるスキン・シップが教育心理の上に如何に大きな作用をするかは今更いうまでもない。加藤公園部長も御理解があるし、何十年のキャリアを持たれる和田園長の指導のもとにこの夢の実現を期したいものである。仕甲斐のある仕事だと思ふ。

フッと子供のかん高い笑い声を間近に聞いた。池のそばのベンチでおじいさまが開けかけた缶ビールがふき出した失敗を、まっくろに浅草のりで包んだおにぎりを持った二人のお孫さんらしき子供が、ころげるようにして笑っている。福祉国家として有名なデンマークで見た老人ホームのベンチで退屈そうに日当ぼっこをしていた老人の姿と、とても对象的に何か示唆をうけたような気がした。平和っていいなあとしみじみおもう。

天王寺動物園協会副会長
松葉静子

なきごえ1月号もくじ

正月に想う.....2
日本のねずみ.....3
動物園グラフ(ねずみのおもちゃ展).....4・5
ねずみの話題.....6
ねずみに関するアンケート.....7

日本のねずみ

西村 猛

街を歩いていると、道端の急ごしらえの露台の上に網籠が置かれて、その中で、小さな白ネズミが輪を回しています。

可愛いいなーと、つい私達も足をとめるし、坊やたちも、この可愛い白ネズミを眺めて、そっと親におねだりをしたりします。

この白ネズミは、マウスと呼ばれて、医学の研究には欠かすことの出来ない、大変重要な動物なのです。このマウスに限ったことではありませんが、ネズミという齧歯目の動物は、昔から、山しよの眼、小豆(あずき)の鼻などと顔付きが表現されているように、皆大変可愛い顔付きをしています。

ネズミの種類は、世界中で約250種も知られていませんから、哺乳動物のうちでは、最も種類の多い動物といえるでしょう。

こんなに種類が多いのですから、形の変ったネズミも随分ありますが、日本で私達が見かけるネズミといえば、数は限られてきます。

私達は、普通このネズミを、家ネズミと野ネズミの2つに区別して呼びますが、これは家の中に住むか、野外に住むかといった、ネズミの習性から分けただけのことです。皆さんの家の天井裏を走り回って、大きな物音をたてるのは、ほとんどクマネズミとよばれる家ネズミで、また、ドブなどから急に飛び出して人を驚かせる大形のネズミは、ドブネズミとよばれる種類です。

ドブネズミは、もとは野外に住む野ネズミの種類なのですが、家の中へも入ってきますので、半住家性ネズミとよばれていました。

しかし、近頃では、このネズミの住みやすい環境や構造をもった、地下街や鉄筋の住宅が多くなって、家にも沢山住みつくようになってきました。

一方、野ネズミは、このような家ネズミと較べると畑や山林などに住んでゐるため、日常見かけることは少なく、また、日本にいる種類は体の小さいものが多いのです。

ハタネズミ、アカネズミ、カヤネズミ、ヒメネズミなど、いろいろな種類が知られていますが、それぞれの種類によって、特有のいろいろな習性を持っています。カヤネズミのように、水のある場所に好んで住み、夏から秋にかけて、チガヤヤスキな

どの茎に登って葉を組み、地上に大変上手に立派な巣を作る、面白い習性をもつ種類もあります。

なお、このカヤネズミの雄は、巣作りを全て雌にまかせて、手伝いもしない怠者です。

このような、ネズミの習性や生態については、まだまだ、いろいろと面白いことがあり、竹や笹の実が実ったあとで、野ネズミが大変な殖え方をすることや、外国では、大変な数に殖えたレミンとよばれるネズミが、海に飛び込んで集団自殺をすることなど、興味深いことが多く知られています。

しかし、このネズミについて、一番身近に見られる不思議なことといえば、夜間のあの敏速な行動でしょう。真暗な中を、なぜ、あのように素早く走るのでしょいか。

これには“ひげ”が大変重要な役目をはたしているのです。人の“ひげ”のように、だてにはやしているわけではなく、その証拠には“ひげ”を切ったネズミは、柱に当り、つまづいたりして、早く走ることが出来なくなります。

この“ひげ”だけではありません。目も耳も鼻も歯も尻尾も、皆大変に優れた機能をもっていますし、注意深く賢いことも、この上ありません。ドイツのある学者は、家ネズミは、それぞれの国の言葉を16語以上憶えているといっていますから、驚くではありませんか。それに加えて、ネズミ算といわれるように、殖え方も激しいのです。1年に4回も子供を生み、1回に産む子供の数も、種類によって違いはありますが、家ネズミで平均6~8匹とされています。雄雌2匹のネズミは、3年後には340,000,000匹に殖える計算になります。

この計算通りですと、遠くの昔に、地球はネズミに占領されていたことなのでしょうが、実際には、産まれたネズミの5%ぐらいしか親になれないのです。

今年の子(ネ)年です。

ネズミが支干(えと)の動物に入りたいため、ネコをだましたので、今でもネコがネズミを目の敵にしている、といったお話を聞かれたことがあるでしょう。

これはお伽話ですが、産まれたネズミは、このネコや、ヘビ、イタチ、トビなどの天敵に殺されたり共喰いしたり、病気で死んだりしてこのように滅んでいくので、自然界での均こうが保たれているのです。まずは安心といったところでしょう。

(大阪市立大学医学部教授)

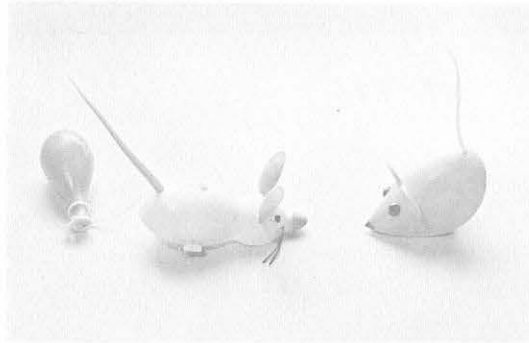
動物園グラフ

“ねずみのおもちゃ展”

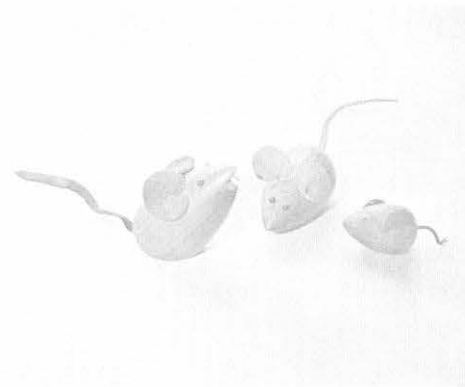
今年も、恒例のエトにちなむねずみのおもちゃ展を開きました。

11カ国、約150点のねずみのおもちゃが、ところ狭しと並べられ、人気を呼びました。

出品者は、おもちゃの動物園の吉田平七郎さんです。



↑動くねずみのおもちゃ
(左—ドイツ、右—オーストリア)



↑木彫りのねずみ (デンマーク)

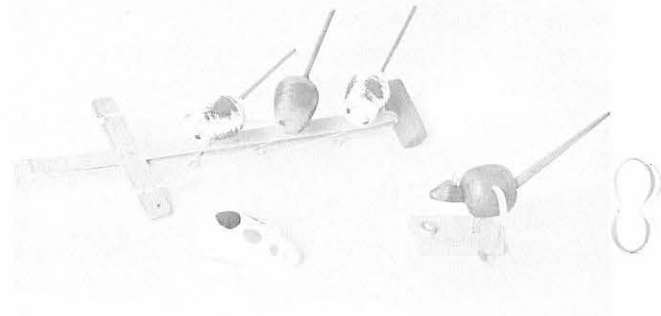
↓大黒さまとねずみ (伏見人形)



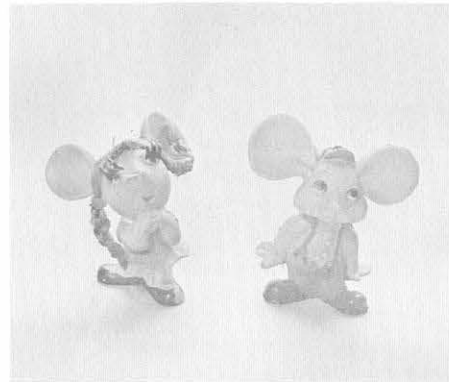
まゆ人形→
(群馬県)



廻りねずみ・米食いねずみ
↓動くねずみ (日本)



ねことねずみ→
(左—中国、右—日本)
「いずれも箱のふた」
をひくと、ねずみ
が出て、閉めると
引っ込むしかけに
なっている。」

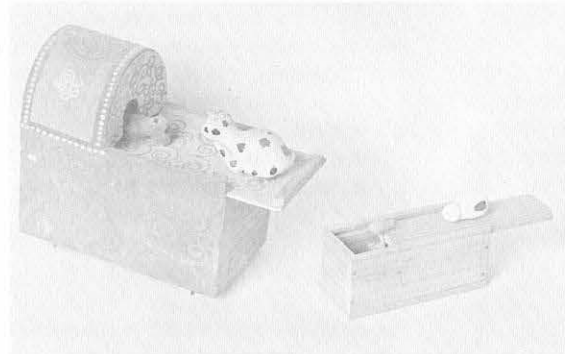


→トッポジョ
(イタリア)



↑ミッキーマウス (アメリカ)

→
ハメルンの笛吹き
(北欧の童話より)
足もとにねずみが見える。
(イタリア)



11・12月動物園日記

- 11/22 チンパンジーのシュージーは老令のため視力が弱り食欲ももう一つ進みませんが、熱心な看護が続けられています。
- 24 オオミズナギドリ7羽が九州に空輸されました。
- 25 カムリバト2羽が入園しました。
- 27 ニホンザル(おす1)が急死しました。
- 28 かもしか園のかもしかたちに、一せいに駆虫薬の投与を行いました。
- 30 エランド1頭が動物交換で搬出されました。
- 12/1 トラの放飼場にモウソウ竹を植えました。うまく育つと立派な竹林となり、トラによくうつるでしょう。

- 3 エゾシカのめす1頭が、角につかれたところが悪化して死にました。胃がやぶられるほどの重傷でした。マレーガビアル(ワニ)が急死しましたので衛生研究所に臓器をおくり死因を調べることにしました。
- 6 トラの仔が急性胃炎で食欲が不振となりましたが8日には回復しました。トビカモシカのおすの頸に皮膚病ができ治療しています。
- 8 ワニ類の一斉治療しました。
- 10 キーウイの夜間の動静観察を行いました。
- 12 この夏頃寄贈されたアカオネツタイチョウは惜しくも死にました。南園で今度来た小さなマレーグマと大きなのと同居させるためにお見合いをすることになりました。

- 13 ヌートリア1番が入園しました。
- 14 オオミズナギドリ第2陣3羽が鹿児島に空輸されました。
- 15 スプリングボッグの1頭がえさをのみ下しにくいのか口の中にえさをためてあわを吹いたりするので、治療してやりました。
- 16 子ぞうのラリーひろ子をこの日はじめて姉さんゾウの春子やゆり子と運動物で見合わせました。
- 17 ニューギニア産のカムリバトは園内で展示していましたが、やはり寒いらしく、また、暖房室に入れて越冬させることにしました。
- 21 エトのおもちゃ展のかざりつけをしました。同時に新聞発表し、1月1日からのこの催しをPRしました。

お知らせ

※なきごえ2月号より購読料が変わります。
昭和47年2月1日より、郵便料金が改正されますので、購読料を下記のとおり改正させていただきますので、ご了承ください。

1部 ——— 100円 (送料とも)

1年継続 (12部) 1,100円 (送料とも)

なお、購読料納付済みの方は、購読料切れの月まで旧料金で送らせて頂きます。

ねずみの話題

吉田平七郎

△ねずみは寝盗みとか不寝見(ねずみ)に通じるので正月には嫁が君と呼ぶとあるが嫁は夜目にも通じ何れも鼠の夜行性を意味する。英語のラットはガリガリ噛る音からきたという。門歯は一生のび放しで、のびるから噛る噛るからのびる。鼠が物を噛るのはいたづらではなく死活問題になる。

△減りゆく動物たちの中で人類の文化を巧みに利用して栄えている鼠の一族にメスを入れると、その答えは小さいこと、何でも食べる雑食性、鼠算で多産性、移動性にとみ、夜行性で用心深く、原始型で余り特殊化していないため新しい環境に対しても適応性が強く人間より将来性があり世界を征服する可能性があるときえいわれている。

△460種余もいて全世界に分布したといってもシベリアから以北の寒地には住めない。これは小形であるために体温が保てないからである。体温調節のためにはエネルギーの補充が必要になり、それだけに彼等は肉食である。300gの鼠は1日に体重の半に値する餌を取り小さい150g大では体重の3分の餌が必要になる。従って空腹に弱くドブネズミでも3日目ぐらいでばたばたおれ、小形種では1昼夜で死ぬものが出る。鼠取りの秘訣は餌の道をたつにかぎる。

△鼠の歯が竹の彫刻刀になるとか、漆で基盤に線書するには鼠のひげに限るとかきくが、とかく人間は動物を利害関係でみて困る。虚心坦懐に鼠を見てやるとなかなか魅力がある。小さい体の割合に大きな目と耳、それに長いひげがあり、チョロチョロと出たりかくれたりする動作がちょっと愛嬌があると思っていれば18世紀末日本で刊行された「珍玩鼠育草」あり、昔藤井千庵が愛蔵して当時京都大学の駒井博士がはるばるアメリカの遺伝学者を案内して見に来たという。中にハツカネズミの家養品種で熊ぶち、豆ぶち、日月の熊、頭ぶち、黒目の白鼠等の図解もあり世界に誇る資料である。

△また元禄5年版井原西鶴の世間胸算用鼠の文づかひがあり面白い事実が紹介されている。以下原文の一節に「長崎水右衛門が仕入れたる鼠つかひの藤兵衛をやとひにつかはし、只今あの鼠が人のいふ事を聞入れてさまざまの芸づくし、若い衆にたのまれ恋の文づかひといへば封じたる文くはへて跡先を見廻し人の袖口より文入れける。又錢一文なげて是で餅かうて来いといへば錢を置いて餅くはへて戻る。」とあり当時鼠を訓練して見世物になっていたことが解る。

△今は普京都に中村信吉さんという俳人で呉服商あり、「どこへ引越しても鼠がよくなくて外出して帰ってくると出迎えてくれる、たまに給食を忘れて寝ていると起しにくる。部屋のもち場がきまっているようだ。」とか耳よりな話を聞いてある日私自身が鼠のお宿を訪門した。本当によくなくていて昼間対談中の主人の側にいて逃げ去らない。もし来客中に鼠が恐れて顔を見せない時は心のよくない相手で用心せよと鼠が教えてくれているので商談はまとめないことにしていると話された。鼠が確実な商売をさせていることになり名実ともにこれは福鼠だと



(鼠返しのある登呂の米倉(弥生時代の復原))

感心した。

△大黒さんのお使いになっている鼠は大国主命が鼠に助けられた神話に由来すると日本では通俗化されているが米俵にのっている。お宝の大判小判も米俵で、誠に米倉の鼠は何不自由せず福の神のシンボル打出の小槌や米俵とよく画題になっている。明治18年から昭和14年まで使用されていた1円5円10円100円紙幣に米俵に坐る大黒さんと鼠が3匹でている。先日デパートでその1円紙幣があったので値段を見ると20万円もしていたので驚いた。鼠には貯蓄性があるのでお金と縁があってもおもしろい鼠が講にあこがれたり、鼠小僧次郎吉を夢みては困る。芝居の先代萩で仁木弾正が鼠に化けて巻物を盗み出すが忍者や泥棒が鼠を利用したのは事実らしい。

△大黒は古代インドで暗黒の神であったのが中国から日本へ台所の守護神として伝来したので米を害する鼠を支配するものとされたのか大国主の大国が大黒に通じたものか。外にインドのガネシヤのお使いも鼠で聡明の意を表わし、又中国で北方の守護神毘沙門天と方位で子は北に当るので鼠がお使いになる。

△十千十二支の最初が甲子で甲子園は大正13年(1924)甲子の年にオープンされて甲子園という。干支頭の鼠が野球場の名づけ親になっていたとはファンには縁遠い話。

△鼠に関する取材をして一番特種に値するものが静岡県登呂遺跡にあり、高床式の木造米倉である。8本の柱で地上から1.2mの高さに床がさきえられ30cm四角の板が鼠返しになっている。弥生時代に見る防鼠対策の実例で稲作文化史上重要な発見であった。鼠年の正月に再確認して誰もが話題にのせてほしいものだ。

(おもちゃの動物園より)

ねずみに関するアンケート

村上 靖

都市公害、交通事故などと共に市民生活をおびやかすのが「ネズミ」「カ」「ハエ」「ゴキブリ」等の被害である。大阪市では食中毒、伝染病を媒介するこれらの動物を駆除するため、保健所の能力をフルに発揮して駆除に努めているが、更により良い効果をあげるためには、市民全体の協力が必要であり、大阪市公聴部では住みよい環境づくりの参考にするため、昭和46年度第1回市政モニターで環境衛生の問題をテーマにとりあげ、その調査結果をまとめている。(197人 回収率98.5%)

その中からネズミに関係あるところをひろい出して、こゝに引用させて頂くこととする。

- ネズミの生息状況**
 - 良く見かける 19.8%
 - 時々見かける 51.3%
 - みかけない 28.9%

上記のとおり7割強のものが家庭でネズミを見かけると答えている。
- みかけた場所**
 - 下水、みぞ 79.3%
 - 台所、食堂 45.7%
 - 押入、物置 25.0%
 - 天井裏 22.9%
 - 庭、土間 11.4%

この表以外で見受けた場所として、床下、屋根の上、道路などがあげられている。
- ネズミの被害**
 - 被害を受けたことがある 65.0%
 - 被害を受けたことがない 35.0%
- 被害物の内訳**
 - 食物をかじられた 27.5%
 - 壁や柱をかじられた 24.2%
 - 寝具をいためられた 15.4%
 - ダニが発生した 9.9%
 - 衣類をかまれた 9.9%
 - 家具をかじられた 9.9%
 - 天井を走りまわってねむれない 6.6%
 - 石けんをかじられた 5.5%
 - ふんを散らかす 5.5%
 - 植木をいためる 3.3%
 - 巣をつくる 3.3%
 - 電気コードやガス管をかじる 1.1%
 - 本をかじる 1.1%
- 家庭における駆除法**
 - 食べ物や調理くずをきちんと始末する 71.1%
 - ネズミの通路をふさぐ 35.5%
 - 市販の薬剤を使っている 20.3%
 - ネコを飼っている 4.1%
 - 何もしていない 1.5%
- 共同駆除の実施状況**
 - 共同駆除している 27.4%
 - 以前していたが最近ではしていない 14.2%
 - していない 58.4%
- 共同駆除の効果**
 - かなり効果がある 24.1%
 - 少しは効果がある 50.0%
 - 効果が無い 25.9%

- 共同駆除の組織**
 - 町内会、日赤奉仕団が中心 59.3%
 - 保健所が中心 24.1%
 - 婦人会が中心 12.9%
 - 町内会と保健所 3.7%
- 共同駆除の時期**
 - 春 29.6%
 - 夏 22.2%
 - 秋 18.5%
 - 冬 5.6%
 - 4ヶ月に1回 1.9%
 - きまっていない 22.2%
- 共同駆除の方法**
 - 殺そ剤 84.6%
 - かご 13.5%
 - 専門業者に依頼 1.9%
- 共同駆除を止めた理由**
 - 皆の意見が一致しない 32.1%
 - あまり効果がない 17.9%
 - ネズミがいなくなった 17.9%
 - 世話人がいなくなった 3.6%
 - その他 28.6%

その他の内訳は、保健所がやってくれなくなった。各家庭でできるようになった。知らないうちにやめてしまった。などである。
- 共同駆除をしない理由**
 - 共同の機運がない 31.3%
 - 世話人がいない 11.3%
 - 皆の関心がない 11.3%
 - ネズミがいらない 15.7%

以上が大阪市公聴部で住みよい快適な環境をつくる参考にするため、昭和46年第1回環境衛生問題をテーマにとりあげ、市政モニター197人の調査をまとめた結果であり、これが都市に住む人々のネズミに対する平均的な考え方をあらわしているものと思われる。

ネズミの大群を見ながら、平気でそれらと共同生活を営む東南アジア諸国。ネズミの糞1ヶ、ゴキブリ1匹が見つかった飲食店、食料品店に対して、営業停止処分をするといわれているアメリカなど、世の中はさまざまであるが、文明のパロメーターとされている下水道の発達は、反面ドブネズミに住み家を与え、暖房設備は冬も快適な生活を作り出し、ネズミの生活を豊かにした。このように人間社会が高度な生活になればなる程、それなりの高い衛生対策が要求されるわけである。

またネズミは極めて繁殖力の強い動物で、家ネズミは人口の3倍位は生存しており、野ネズミを加えると実に10数倍に達すると言われている。従って、ネズミによる被害の中で食品の被害は目立たないようであるが、ネズミ1匹1日10g食べるとしても、わずか1日の間に全国でざっと3000トン以上の食物が食べ荒らされ、これを金額に換算すると莫大なものである。その外、食中毒、伝染病などの病原菌をまき散らし、精神的にも不潔感、騒音も含め、人間の病気の30%以上が直接的あるいは間接的に関連しているといわれている。

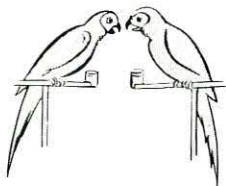
従ってネズミの駆除は極めて大切なことで、カ、ハエと同じく地域ぐるみでやるのが成果をあげる最良の方法であるといわれている。どうかネズミはもち論のことカ、ハエも居ない清潔で住みよい街にするよう、お互いに力を合わせて努力しようではありませんか。

筆者 大阪市東保健所環境係長

なきごえ 昭和47年1月15日発行 (毎月1回15日発行) 第8巻第1号 (通巻78号)

編集 / 大阪市天王寺動物園
発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 加藤寿雄
印刷所 / 株式会社 松村善進堂

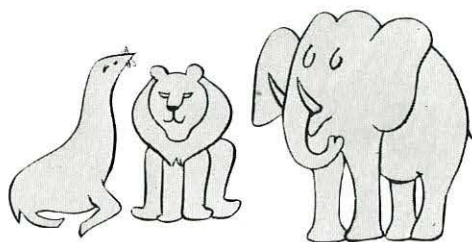
〒543 大阪市天王寺区玉水町2
電話 大阪 (06)771-0201
振替口座 大阪 37823
定価 50円



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑 (34種 1枚もの) 要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



オイシサも…
品質も…
グーンとアップ!
グリコジャイアンツコーン
●ハニラ・ナッツ・チョコレート
30円50円



グリコ アイスクリーム

江崎 グリコ 株式会社